

札幌南一条病院

電車通り 通信

副院長就任のご挨拶
入院透析について

漢方外来を開設しました

連携医療機関のご紹介

部署紹介～医事課～

ドクターオススメの一冊

夏号

2022.7 vol.34

FREE



社会医療法人北海道恵愛会

札幌南一条病院

副院長就任のご挨拶

2022年4月より札幌南一条病院の副院長職を拝命いたしました、青山眞也です。この年齢になっての副院長就任の意味するところを推し量りつつ地域医療を支える一翼を担えればと存じます。

院内におきましてはもちろん土田哲人院長のサポートが大きな責務のひとつですが、自分の強みの一つでもある「IT」活用を推進したいと思います。2021年より医療安全管理委員長となりましたが、それまでの診療情報管理委員長時代の経験を活かし、アナログである医療行為との効率的な連携を推進し業務・運用の見直し、医療安全の向上にも取り組むつもりです。

私がかけだしの頃、先輩医師や教授から問診の重要性を厳しく指導されました。それもありほとんどすべての場合、初診の患者様にはご迷惑なくらい時間かけて病歴を聴取します。当院受診に至るまでの経過をご本人やご家族が思い出せる限りうかがい、その方のヒストリーを把握するところからスタートしたいと心がけています。このようなバックグラウンドを知ることで見えていなかった疾患や原因にたどり着くこともありますし、日々の診療でもちょっとしたエピソードを記録しておくことが後になって診療の助けになることもあります。

言い訳にはなりませんが、そのためにお一人にかかる診療時間は少々長めになってしまっていることをお詫び申し上げます。

以上、今後も自分のスタンスを大きく変えることなく、みなさまと一緒に歳を取っていく所存です。よろしくお願い申し上げます。



循環器・腎臓内科

副院長 青山 真也
あお やま しん や

PROFILE

札幌医科大学医学部卒業。医学博士。市立室蘭総合病院、手稲済仁会病院、新日鉄室蘭総合病院などの勤務を経て、1997年4月より当院にて勤務。2022年4月より現職。日本内科学会、日本循環器学会、日本糖尿病学会、日本透析医学会所属。



入院透析について

当院の透析室は1982年の開設以来、血液透析を中心とした腹膜透析及び血液浄化業務全般を行なっています。また、コンピューターによる透析装置の集中管理システムをいち早く導入、新病院ではラウンジも備えており皆さまのコミュニケーションの場ともなっています。

透析室は市内でも有数のベッドを有しており、外来専用透析ベッド48床、入院専用透析ベッド22床(内個室ベッド2床)の70床で稼働しております。重症透析患者様用には、病棟に合計4床の透析専用ベッドを設置しています。透析室設置の個室は個別空調による陰圧換気となっており感染症にも対応しています。

当院は障がいのある方を中心とした入院医療を主にしておりますが、決して「障がいのある方に限定」しているわけではなく、透析治療の必要な方を幅広く受け入れております。脳血管疾患や認知症のため通院透析が困難になった方や、たとえば骨折後や運動器廃用など



の自宅退院に向けてのリハビリテーションや急性疾患回復期治療を施行しております。さらに退院後の通院院先紹介や施設入所のお手伝いも行っております。また胃ろう造設や中心静脈栄養・CVポート挿入にも対応しておりますので栄養管理の面でもサポート可能です。

現在はコロナ禍で面会はごく限られますが、駐車場も完備しておりますので病状説明などご家族の来院の際にも利便性が高いと存じます。

お時間に余裕があれば地域連携室からお問合せいただけますが、お急ぎの場合は主治医を通しDoctor-to-Doctorで私や土田院長にご一報いただければ空床状況を確認のうえ迅速に対応可能です。ぜひご利用いただけ幸いです。



漢方外来を開設しました！

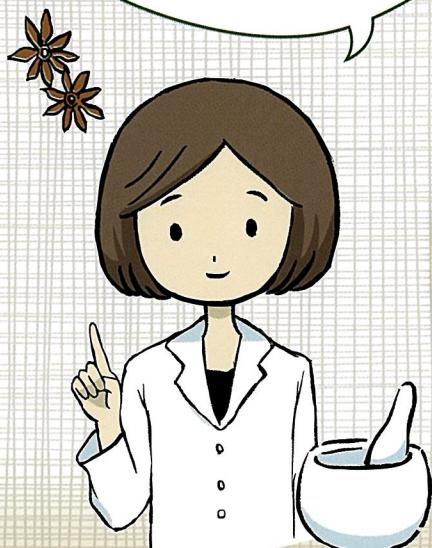
2022年4月より漢方外来を開設しました。漢方医学の特性の一つは診察に重点を置いた個別医療です。漢方外来では漢方医学的診察(問診や舌・脈・お腹の診察)と必要な検査後に、その患者さんに適切な漢方薬がある場合に処方します。

漢方薬は複数の生薬(しょうやく)の組み合せから成り立っています。生薬の多くは草木の根、樹皮、花、葉、果実や種など植物由来です。たとえば、「葛根湯」は葛根(かっこん)、麻黄(まおう)、桂皮(けいひ)、芍薬(しゃくやく)、大棗(たいそう)、生姜(しょうきょう)、甘草(かんぞう)の7種類の生薬をブレンドして煎じたものです。「葛根湯」の出典は、今から1800年前の紀元220年頃、張仲景という人が著した中国の医学書『傷寒論』(しょうかんろん)です。このように漢方薬

のほとんどが、医学書の古典が出典となっており、長年にわたり受け継がれてきたものなのです。現在、保険適用のあるエキス製剤(顆粒や錠剤やカプセルになった漢方薬)が150種類近くあります。西洋医学の現代医薬とは全く異なる作用点をもつ漢方薬は、近年再び注目を浴びてきており、西洋医学と漢方医学の両者の視点からの診療を行うことで、一人ひとりの患者さんに、よりよい治療が期待できます。



当院の漢方外来では
15歳以上で右記の1~4に
あてはまる方を中心に診ています。
「漢方」とは漢方医学を、
「漢方薬」とは保険適用のある
エキス製剤を
指すこととします。



痛み(頭痛、腹痛、腰痛など)、咳・痰、食欲不振、
むくみ、頻尿、便秘など、西洋医学的検査や
治療を受けても改善しない慢性症状がある

専門の科に通院して、鎮痛剤を内服しているがよくならない「痛み」や副作用のため鎮痛剤が内服できず「痛み」が持続している方には、現代医薬と作用点の異なる漢方薬で軽快することがあります。漢方では上記のような症状のおおもとの原因を気・血・水(き・けつ・すい)の異常という視点で考えます。そのため、1種類の処方で複数の症状が改善することもあります。





2

冷え症、風邪をひきやすい、
疲れやすいなどの体質改善を希望する

漢方には「温める」という概念があり、「温める」作用のある生薬が多数あります。しかし現代医薬には「温める」作用の薬はありません。さらに漢方薬には、手足の冷え、腰から下の冷え、お腹の冷え、体全体の冷えというように冷えを感じる体の部位や冷えに伴う痛みの有無に応じて、漢方薬を使い分けます。また、漢方では〈養生〉を大切にします。食事、睡眠・休養、禁煙、節酒、運動などの生活習慣や衣服による保温、冷房の調節などの生活環境に留意した上で漢方薬を選択します。漢方外来では〈養生〉に関する助言も行っております。

3

かかりつけの病院やクリニックの
医師より漢方外来をすすめられた

かかりつけの病院やクリニックの先生からすすめられたのでと受診される方、中には、紹介状(診療情報提供書)をもって受診される患者さんがいらっしゃいます。これからも、他院の主治医の先生と連携をとりながら、漢方診療をすすめていきたいと思っています。

診察日

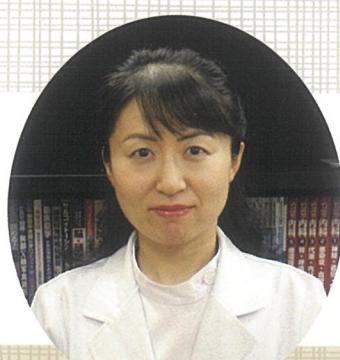
火曜日：13:30～16:30
水曜日：9:00～12:00
金曜日：13:30～16:30



4

コロナ感染症の後遺症に悩んでいる

コロナ感染症後の咳、倦怠感、息苦しさ、息切れ、動悸、食欲不振、不眠などで悩んでいる方が当院のコロナ後遺症外来もしくは漢方外来を受診されています。診察と胸部レントゲンや血液検査など西洋医学的検査を行った後に漢方薬を処方し、多くの方が軽快・治癒されています。



呼吸器内科 医師 真木 賀奈子

PROFILE

北海道大学大学院医学研究科卒業 医学博士
内科認定医、総合内科専門医、呼吸器専門医、漢方専門医
北海道大学病院、JCHO北海道病院、牧田病院などの勤務を経て、
2019年7月より現職 モットーは「誠意・熱意・創意」

連携医療機関の ご紹介

▶上條甲状腺クリニックの特色◀

1994年2月北海道で初めて甲状腺に特化したクリニックとして開業。ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社のcobas e411を2台用いて当日検査結果を出し、甲状腺の診療をしています。橋本病を発見した橋本策先生のご子息故和夫先生ご提供の写真やトロント留学時共同研究したタフト大学ライクリン教授が、バセドウ病の治療薬を発見した前任教授アストワードの遺影を私に見せている貴重な写真をクリニックの待合室に掲示しています。

▶南1条病院について◀

甲状腺疾患は特に循環器症状・所見および脂質異常が多数の症例で出現することから、困った時には土田院長を初めとして諸先生に診断・治療をお願いしており、心から感謝しております。

▶南1条病院の患者さんに、伝えたいこと◀

甲状腺疾患は頻度が高く、橋本病は女性10人に1人、バセドウ病は女性約4ないし500人に1人、甲状腺癌はエコー検査で女性約150人に1人、男性約380人に1人に認められます。

▶院長のプロフィール◀

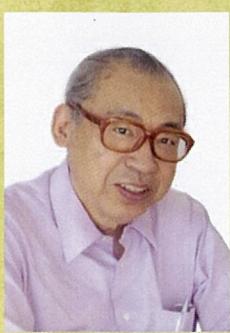
当クリニックは2005年日本甲状腺学会認定専門医施設に指定されております。留学はトロント大学コバックス教授にご指導いただき、それが縁で2007年10月第11回日本臨床内分泌病理学会の会長を務め、コバックス教授夫妻による特別講演を札幌で拝聴できました。最近のビック・イベントは、75歳で発表した英語の論文と、長年行つてきたバセドウ病のTSH受容体抗体(TRAb)の



甲状腺疾患専門内科

上條甲状腺クリニック

研究活動が認められ、2021年10月に日本人として4人目の日本甲状腺学会特別功労賞を受賞したことです。【写真1】はTRAbの仕事が初めて国際的に認められ、1990年当時東ドイツのハレ(バセドウが開業していたメルゼブルグの近く)で開催されたバセドウ病150周年記念シンポジウムに招待され、残っていたベルリンの壁の前で撮影したものです。警察官と思しきヒトが近寄って来たときには、一瞬ドキッとしたしました。また、【写真2】は2005年10月ブエノスアイレスで開催された第13回国際甲状腺学会でTRAbシンポジウムに招待された時に、訪れたイグアスの滝です。国際甲状腺学会は5年に一度開催されますが、2010年9月パリで開催された第14回国際甲状腺学会のミート・ザ・エキスパート「TSH受容体抗体」で30分間の講演に招待され、その時に開催されたベルサイユ宮殿の晩餐会は忘れることができません。日本甲状腺学会のガイドライン作成委員としてバセドウ病の治療2006、2011、バセドウ病^{131I}治療の手引き、甲状腺腫瘍診療ガイドライン2013等に参加して多くの著明な甲状腺の先生と議論したことは得難い思い出です。アメリカ甲状腺学会から入会費を半額にするので入会しないかとの誘いがあり、早速メンバーに。昨年の第94回日本内分泌学会クリニカルアワーで「バセドウ病妊娠MMI安全投与法」について講演し、現役続行中です。武者小路実篤の「この道より我を生かす道はなし、この道を行く。」この道が私にとっては甲状腺の臨床です。



院長 上條桂一 先生

PROFILE

略歴
1984年 トロント大学Kovacs教授留学
1991年 札幌医大、第一内科助教授
1994年 北海道で初めての甲状腺疾患を専門とする上條内科クリニック開設
1995年 (有)上條甲状腺研究所設立
2005年 日本甲状腺学会認定専門医施設
2012年 上條甲状腺クリニックへ名称変更
役職
第11回日本内分泌病理学会学術集会会長
日本甲状腺学会功労評議委員
日本内分泌病理学会名誉会員
日本内分泌学会功労評議員
米国内分泌学会会員

札幌市中央区大通西14丁目3-1 大通丸ビル3階
☎011-272-6688 <https://www.kamijothyroidclinic.com>



写真1

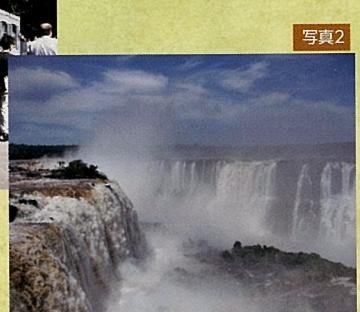


写真2

私たち、こんな
仕事をしています

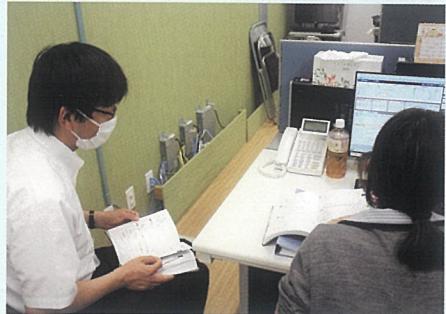
部署紹介

医事課



現在、医事課スタッフは8名で業務を行っております。前病院は1階に受付会計、2階で診察、検査等を行っておりましたが、建替えにより新しい病院になったことによって外来患者さんの受付から診察、検査、会計まですべて1階で完結できるようになりました。以前から、受付から診察、会計ま

での待ち時間が長いという問題を解決すべく、どこで待ち時間が発生しているのか待ち時間調査などを行って改善できるところはしていましたが、それに満足することなく、さらなる時間短縮を目指して他部署と連携し外来全体で待ち時間を短くする取り組みをしております。コロナ禍の中、当院では透析患者様が多くいらっしゃることなどから発熱患者さんを診察することができません。来院される方の検温、体調チェックで、病院にコロナを持ち込まないためのセキュリティー業務も行っています。入院患者様は面会の制限が多く、家族の方に会えない日々が続いています。医事課は、病院全体の窓口であり、患者様、家族の方にとって安心して来院していただけようマスク着用の毎日ですが、マスクの下から笑顔で接するよう心掛けております。



ドクター
オススメの1冊

呼吸器内科 主任医長 原田 尚雄

アイヌからみた北海道一五〇年
石原 真衣 編著
北海道大学出版会 1600円(税別)

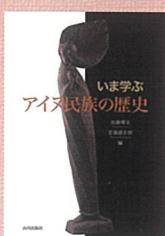


北海道命名から150年(2018年)。道はアイヌ民族に関連した行事を開催し、白老には鳴り物入りで国立アイヌ民族博物館を開館(2020年)しました。また、アイヌが主人公のゴールデン・カムイ(コミックス)も脚光を浴びています。これらをアイヌ民族や文化の称揚、社会への受け入れと捉えると“光”の部分といえるでしょう。しかし、光あれば当然”闇”も横たわっています。闇とは忘却されたアイヌの「痛み」です。差別、アイヌ遺骨(盗掘)問題、ヘイトスピーチ、同化政策、自死、サイレントアイヌ(ルーツとの繋がりを失い、アイヌの歴史・文化を知る術(すべ)がない)などの問題が放置されているのが現状です。なぜ? ま

た、巷に広がっている『自然と共生するアイヌ』というステレオタイプなナラティブ(物語)も、アイヌの現状を覆い隠す一端となっています。本書は“今を生きるアイヌ”的コトバを集め、美辞麗句ではない、当事者の思いが綴られています。先住民族であるアイヌ民族の現状を理解せずに先住民族のためと称して政策を立案することが果たしてできるのでしょうか。現状を知るためにには、アイヌとシサム(和人)の互いの声に耳を傾けることが必要です。その上で関連する政策やプロジェクトの立案や決定過程へアイヌ民族が参加することではじめて、この土地アイヌモシリ(人間の住む大地)が持つ歴史(悲しみ、苦しみ、希望)を物語り、継承することが可能となるのではないかでしょうか。その手がかりを得る上で、今までになく当事者のコトバをひろく集めた本書は貴重と言えるでしょう。

○アイヌ民族の通史的な理解には以下の本がお勧めです。

いま学ぶアイヌ民族の歴史
加藤博文 若園雄志郎 編 山川出版社 2000円(税別)



外来担当医一覧



科目	時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
循環器 ・腎臓内科	午前	高木	青山	青山	工藤	工藤	ホームページ 参照 ※1
		占部	高木	土田	土田	占部	
		山下 (腎臓専門外来)	鳥井	陳	神津	鳥井	
	午後	土田	工藤	高木	鳥井	青山	休診
			土田※2 (透析専門外来)				
		陳	占部	鳥井※3 (透析専門外来)	青山※4 (透析専門外来)	陳	
呼吸器 内科	午前	原田	田垣	眞木 漢方外来 一般診療との並行診療	原田	中島	担当医 下記参照※5
	午後	中島	眞木 漢方外来 一般診療との並行診療	中島 禁煙外来・完全予約制 一般診療との並行診療	田垣	眞木 漢方外来 一般診療との並行診療	休診
糖尿病 内科 <small>一般診療との 並行診療</small>	午前	高木	高木	—	—	—	休診
	午後	—	—	高木	—	—	
消化器 内科 <small>※6</small>	午前	小林	小林 (内視鏡検査)	小林	札幌医大出張医 (内視鏡検査のみ)	小林 (内視鏡検査)	休診
	午後	—	—	—	—	—	

※1 循環器・腎臓内科外来の土曜日担当医は、毎週変更となりますので、事前にご確認ください。

※2 循環器・腎臓内科の火曜日(原則として第2週のみ)午後は土田医師による透析専門外来の完全予約制(13:30~14:30)です。

※3 循環器・腎臓内科の水曜日午後は鳥井医師による透析専門外来の完全予約制(13:30~14:30)です。

※4 循環器・腎臓内科の木曜日午後は青山医師による透析専門外来の完全予約制(13:30~14:30)です。

※5 呼吸器内科外来の土曜担当医は以下の通りです。 第1週／田垣医師 第2・4週／中島医師 第3・5週／原田医師

※6 消化器内科の診察は、月・水曜の午前中のみとなり、その他は内視鏡検査のみとなります。

ご予約のお問合せ



- 初めて当院を受診・他院からの紹介で当院を受診・3ヶ月以上受診されていない方

地域医療連携室【直通】 TEL:011-271-6050 FAX:011-271-6033

※お問合せ時間：平日／9:00～17:00 土曜日／9:00～13:00

- 再診受診のご予約、お問い合わせの方

外来予約専用ダイヤル TEL:011-271-3712

※予約・お問合せ時間：平日／9:00～16:30 土曜日／9:00～12:00

